



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社じもとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7161 URL <https://www.jimoto-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 尾形 毅 (TEL) 022(722)0011
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,674	△8.4	1,435	△11.1	980	18.2
2022年3月期第1四半期	10,563	△1.2	1,616	72.2	829	4.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △10,841百万円 (ー%) 2022年3月期第1四半期 100百万円 (△96.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	45.69	8.71
2022年3月期第1四半期	38.64	8.47

(注) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,730,587	89,708	3.2
2022年3月期	2,698,662	100,898	3.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 89,490百万円 2022年3月期 100,672百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	10.00	ー	10.00	20.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2022年5月13日に公表しました業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期ともに現時点において修正はございません。

なお、有価証券ポートフォリオの再構築を検討しており、その影響を精査中であります。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合は速やかに開示いたします。

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	
第2四半期（累計）	2,000	△16.5	1,300	△18.9	54.47
通期	3,600	△19.7	2,500	△3.2	104.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	21,540,263株	2022年3月期	21,540,263株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	81,257株	2022年3月期	80,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	21,459,155株	2022年3月期1Q	21,460,429株

(注)

1. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2023年3月期1Q31,900株、2022年3月期31,900株）が含まれております。
2. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2023年3月期1Q31,900株、2022年3月期1Q32,600株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—				
2023年3月期 (予想)		0.11	—	0.11	0.23

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 2023年3月期第2四半期末(予想)及び2023年3月期末(予想)の配当については、2022年7月8日に預金保険機構が公表した震災特例金融機関等の「優先配当年率としての資金調達コスト(令和3年度)」に基づき算出しております。なお、「優先配当年率としての資金調達コスト(令和3年度)」は0.01%であります。

C種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.06	—	13.06	26.12
2023年3月期	—				
2023年3月期 (予想)		13.10	—	13.10	26.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

D種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—				
2023年3月期 (予想)		0.10	—	0.10	0.20

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 2023年3月期第2四半期末(予想)及び2023年3月期末(予想)の配当については、2022年7月8日に預金保険機構が公表した震災特例金融機関等の「優先配当年率としての資金調達コスト(令和3年度)」に基づき算出しております。なお、「優先配当年率としての資金調達コスト(令和3年度)」は0.01%であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	7
(参考) 2023年3月期 第1四半期決算説明資料	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少等により資金運用収益が減少したことなどから、前第1四半期連結累計期間比8億89百万円減少の96億74百万円となりました。経常費用は、営業経費及びその他経常費用が減少したことなどから、前第1四半期連結累計期間比7億9百万円減少の82億38百万円となりました。その結果、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比1億80百万円減少の14億35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間比1億51百万円増加の9億80百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末比319億24百万円増加の2兆7,305億87百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比111億89百万円減少の897億8百万円となりました。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は、中小企業等貸出金が減少したことなどから前連結会計年度末比105億53百万円減少の1兆8,627億70百万円となりました。預金残高（譲渡性預金含む）は、前連結会計年度末比468億55百万円増加の2兆5,340億60百万円となりました。有価証券残高は、前連結会計年度末比213億80百万円減少の5,070億99百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社きらやか銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比138億81百万円減少し9,849億55百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比59億2百万円増加し1兆2,937億26百万円となりました。株式会社仙台銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比36億33百万円増加し8,801億81百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比400億97百万円増加し1兆2,421億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期ともに現時点において修正はございません。

なお、有価証券ポートフォリオの再構築を検討しており、その影響を精査中であります。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
現金預け金	224,830	287,928
買入金銭債権	782	792
金銭の信託	2,947	2,948
有価証券	528,479	507,099
貸出金	1,873,323	1,862,770
外国為替	340	354
リース債権及びリース投資資産	12,692	12,769
その他資産	31,503	32,590
有形固定資産	22,830	22,720
無形固定資産	928	924
退職給付に係る資産	3,708	3,891
繰延税金資産	3,696	3,429
支払承諾見返	6,377	6,125
貸倒引当金	△13,779	△13,757
資産の部合計	2,698,662	2,730,587
負債の部		
預金	2,309,965	2,354,274
譲渡性預金	177,239	179,785
コールマネー及び売渡手形	2,800	—
借入金	80,191	79,529
外国為替	1	4
その他負債	18,232	18,266
賞与引当金	363	186
退職給付に係る負債	104	104
睡眠預金払戻損失引当金	280	260
偶発損失引当金	362	372
繰延税金負債	338	461
再評価に係る繰延税金負債	1,506	1,506
支払承諾	6,377	6,125
負債の部合計	2,597,764	2,640,878
純資産の部		
資本金	18,750	18,750
資本剰余金	68,879	68,879
利益剰余金	26,554	27,189
自己株式	△86	△86
株主資本合計	114,097	114,732
その他有価証券評価差額金	△16,158	△27,996
土地再評価差額金	3,274	3,274
退職給付に係る調整累計額	△541	△519
その他の包括利益累計額合計	△13,425	△25,241
非支配株主持分	225	218
純資産の部合計	100,898	89,708
負債及び純資産の部合計	2,698,662	2,730,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
経常収益	10,563	9,674
資金運用収益	7,171	6,349
(うち貸出金利息)	5,459	5,427
(うち有価証券利息配当金)	1,667	831
役務取引等収益	1,634	1,593
その他業務収益	334	453
その他経常収益	1,422	1,277
経常費用	8,947	8,238
資金調達費用	77	60
(うち預金利息)	56	39
役務取引等費用	983	970
その他業務費用	274	319
営業経費	5,818	5,612
その他経常費用	1,794	1,274
経常利益	1,616	1,435
特別利益	5	0
固定資産処分益	5	0
特別損失	31	39
固定資産処分損	22	39
減損損失	8	—
税金等調整前四半期純利益	1,590	1,396
法人税、住民税及び事業税	247	76
法人税等調整額	512	345
法人税等合計	759	421
四半期純利益	831	974
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	829	980

(株)じもとホールディングス(7161)2023年3月期 第1四半期決算短信

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	831	974
その他の包括利益	△731	△11,816
その他有価証券評価差額金	△751	△11,838
退職給付に係る調整額	20	22
四半期包括利益	100	△10,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97	△10,835
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

当社は、当社及び当社子会社である株式会社きらやか銀行並びに株式会社仙台銀行（以下、「当社グループ」という。）の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下、「対象役員」という。）に対して業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託 (BBT) 」を導入しております。

1. 取引の概要

当社が抛出する金銭を原資として、本制度に基づき設定される信託を通じて当社株式を取得します。取得した当社株式は、対象役員に対して、当社グループが定める「役員株式給付規程」に従い受益者要件を満たした者に当社株式等を給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末40百万円、31千株、当第1四半期連結会計期間末40百万円、31千株であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の追加計上に当たっては、前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した内容から重要な変更は行っておりませんが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞は当連結会計年度にわたり続くものと仮定し、貸倒引当金の見積りに反映しております。具体的には、今後の事業へ一定の影響があるものとした一部の債務者に係る債権について予想損失率に修正を加えて、貸倒引当金の追加計上を行っております。

なお、個別債務者の業績変化又は新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済への影響の変化等により、当初の見積りに用いた仮定が変化した場合は、当第1四半期連結会計期間後の連結財務諸表における貸倒引当金に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(新型コロナウイルス感染症特例金融機関等に対する資本参加に係る特例による金融機能強化法に基づく国の資本参加の申請に向けた検討)

前連結会計年度において（重要な後発事象）として記載しておりました新型コロナウイルス感染症特例金融機関等に対する資本参加に係る特例による金融機能強化法に基づく国の資本参加の申請につきましては、引き続き検討中であります。

(参考) 2023年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス【連結】

2023年3月期第1四半期の連結経常収益は、前年同期比8億89百万円減少の96億74百万円となりました。
 経常利益は、前年同期比1億80百万円減少の14億35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1億51百万円増加の9億80百万円となりました。

(単位：百万円)

		2023年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2022年3月期 (12カ月間)
連結経常収益	1	9,674	10,563	△889	40,207
連結業務粗利益	2	7,045	7,806	△760	29,392
資金利益	3	6,288	7,094	△805	26,114
役務取引等利益	4	622	651	△29	3,135
その他業務利益	5	134	60	74	142
営業経費(△)	6	5,612	5,818	△205	23,009
貸倒償却引当費用(△)	7	66	499	△433	2,457
貸出金償却(△)	8	3	2	1	86
個別貸倒引当金繰入額(△)	9	△5	489	△495	1,300
一般貸倒引当金繰入額(△)	10	30	△5	35	857
債権売却損(△)	11	—	—	—	101
偶発損失引当金繰入額(△)	12	9	—	9	7
信用保証協会責任共有制度負担金(△)	13	28	13	14	103
その他(△)	14	—	—	—	—
株式等関係損益	15	△7	74	△81	198
偶発損失引当金戻入益	16	—	6	△6	—
持分法による投資損益	17	1	5	△3	21
その他損益	18	75	41	33	341
経常利益	19	1,435	1,616	△180	4,486
特別損益	20	△39	△25	△13	△212
税金等調整前四半期純利益	21	1,396	1,590	△193	4,274
法人税等合計(△)	22	421	759	△337	1,681
法人税、住民税及び事業税(△)	23	76	247	△170	740
法人税等調整額(△)	24	345	512	△166	940
四半期純利益	25	974	831	143	2,593
非支配株主に帰属する四半期純利益(△ は非支配株主に帰属する四半期純損失)	26	△5	1	△7	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	980	829	151	2,585

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (連結) 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用(※)) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(※) じもとホールディングス【連結】、2行合算及び子銀行単体の資金調達費用については、金銭の信託運用見合費用を控除しております。

(株)じもとホールディングス(7161)2023年3月期 第1四半期決算短信

(2) 2行合算

(単位：百万円)

		2023年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2022年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	8,471	9,381	△910	34,650
業務粗利益①	2	7,100	7,937	△836	29,300
(コア業務粗利益(①-②))	3	7,103	7,934	△831	29,478
資金利益	4	6,417	7,276	△859	26,294
役員取引等利益	5	550	602	△51	2,873
その他業務利益 (うち国債等債券損益)②	6 7	132 △3	58 2	74 △5	131 △178
経費(除く臨時処理分)(△)	8	5,440	5,669	△228	22,362
人件費(△)	9	2,685	2,787	△101	10,979
物件費(△)	10	2,313	2,420	△107	9,544
税金(△)	11	441	461	△19	1,837
実質業務純益③	12	1,659	2,267	△608	6,937
コア業務純益(③-②)	13	1,663	2,265	△602	7,116
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	1,584	2,265	△681	7,040
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	31	27	3	883
業務純益	16	1,628	2,239	△611	6,054
臨時損益	17	△129	△506	376	△1,643
うち株式等関係損益	18	△7	74	△81	198
うち不良債権処理額(△)⑤	19	49	503	△454	1,598
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	—	7	△7	—
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	2	17	△14	15
うち償却債権取立益	22	5	4	1	48
経常利益	23	1,498	1,733	△234	4,410
特別損益	24	△39	△37	△1	△224
税引前四半期純利益	25	1,459	1,695	△236	4,186
法人税、住民税及び事業税(△)	26	74	237	△162	662
法人税等調整額(△)	27	320	500	△179	939
四半期純利益	28	1,064	957	106	2,584
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	77	507	△429	2,465

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(株)じもとホールディングス(7161)2023年3月期 第1四半期決算短信

(3) 子銀行単体

① きらやか銀行

2023年3月期第1四半期の経常収益は、前年同期比5億80百万円減少の45億42百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比3億85百万円減少の9億1百万円となりました。

経常利益は、前年同期比4億44百万円減少の7億89百万円、四半期純利益は前年同期比1億31百万円減少の5億86百万円となりました。

(単位：百万円)

		2023年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2022年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	4,542	5,123	△580	18,415
業務粗利益①	2	3,799	4,378	△578	15,780
(コア業務粗利益(①-②))	3	3,801	4,379	△578	15,796
資金利益	4	3,304	3,884	△579	13,355
役務取引等利益	5	422	427	△4	2,206
その他業務利益 (うち国債等債券損益)②	6 7	72 △1	67 △0	5 △0	217 △16
経費(除く臨時処理分)(△)	8	2,899	3,092	△193	12,138
人件費(△)	9	1,423	1,495	△72	5,956
物件費(△)	10	1,250	1,349	△98	5,239
税金(△)	11	225	247	△22	942
実質業務純益③	12	900	1,286	△385	3,642
コア業務純益(③-②)	13	901	1,287	△385	3,658
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	901	1,287	△385	3,658
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	△0	—	△0	1,029
業務純益	16	901	1,286	△384	2,613
臨時損益	17	△111	△52	△59	△636
うち株式等関係損益	18	△3	1	△5	25
うち不良債権処理額(△)⑤	19	32	—	32	407
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	—	7	△7	—
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	2	17	△14	—
うち償却債権取立益	22	5	3	1	29
経常利益	23	789	1,233	△444	1,976
特別損益	24	—	—	—	△128
税引前四半期純利益	25	789	1,233	△444	1,848
法人税、住民税及び事業税(△)	26	7	138	△131	211
法人税等調整額(△)	27	194	376	△181	558
四半期純利益	28	586	718	△131	1,078
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	28	△24	52	1,436

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(株)じもとホールディングス(7161)2023年3月期 第1四半期決算短信

② 仙台銀行

2023年3月期第1四半期の経常収益は、前年同期比3億29百万円減少の39億28百万円となりました。

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比2億17百万円減少の7億61百万円となりました。

経常利益は、与信関係費用の減少等により前年同期比2億9百万円増加の7億9百万円、四半期純利益は、前年同期比2億38百万円増加の4億77百万円となりました。

(単位：百万円)

		2023年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考)前期 2022年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	3,928	4,258	△329	16,235
業務粗利益①	2	3,300	3,558	△258	13,519
(コア業務粗利益(①-②))	3	3,302	3,555	△252	13,682
資金利益	4	3,113	3,392	△279	12,938
役務取引等利益	5	127	175	△47	667
その他業務利益	6	59	△9	69	△85
(うち国債等債券損益)②	7	△1	3	△5	△162
経費(除く臨時処理分)(△)	8	2,541	2,577	△35	10,224
人件費(△)	9	1,262	1,291	△29	5,023
物件費(△)	10	1,062	1,071	△9	4,305
税金(△)	11	216	213	2	895
実質業務純益③	12	759	981	△222	3,295
コア業務純益(③-②)	13	761	978	△217	3,458
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	682	978	△296	3,382
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	32	27	4	△145
業務純益	16	727	953	△226	3,441
臨時損益	17	△17	△454	436	△1,007
うち株式等関係損益	18	△3	72	△76	173
うち不良債権処理額(△)⑤	19	17	503	△486	1,191
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	—	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	—	—	—	15
うち償却債権取立益	22	0	1	△0	18
経常利益	23	709	499	209	2,434
特別損益	24	△39	△37	△1	△96
税引前四半期純利益	25	670	461	208	2,338
法人税、住民税及び事業税(△)	26	66	98	△31	451
法人税等調整額(△)	27	126	124	1	380
四半期純利益	28	477	239	238	1,506
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	49	531	△482	1,029

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法に基づく開示債権及びリスク管理債権

(1) じもとホールディングス【連結】

(単位：百万円)

	2022年6月末		2021年6月末比	2022年3月末	2021年6月末
		2022年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,231	△192	△1,093	4,424	5,325
危険債権	41,493	1,342	8,880	40,151	32,613
要管理債権	7,565	△129	1,556	7,695	6,009
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	7,565	△129	1,556	7,695	6,009
(合計)(A)	53,290	1,019	9,343	52,270	43,947
正常債権	1,860,623	△11,520	15,405	1,872,144	1,845,218
(総与信額)(B)	1,913,914	△10,500	24,748	1,924,415	1,889,165
総与信額に占める割合(A/B)	2.78%	0.07%	0.46%	2.71%	2.32%

(2) 2行合算

(単位：百万円)

	2022年6月末		2021年6月末比	2022年3月末	2021年6月末
		2022年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,729	△147	△1,039	3,877	4,769
危険債権	41,400	1,355	8,874	40,044	32,526
要管理債権	7,565	△129	1,556	7,695	6,009
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	7,565	△129	1,556	7,695	6,009
(合計)(A)	52,695	1,078	9,391	51,617	43,304
正常債権	1,848,744	△11,403	14,297	1,860,147	1,834,447
(総与信額)(B)	1,901,440	△10,324	23,688	1,911,765	1,877,752
総与信額に占める割合(A/B)	2.77%	0.08%	0.47%	2.69%	2.30%

(3) きらやか銀行

(単位：百万円)

	2022年6月末		2021年6月末比	2022年3月末	2021年6月末
		2022年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,084	△173	△1,127	2,258	3,212
危険債権	19,790	716	6,428	19,074	13,362
要管理債権	3,684	△96	962	3,780	2,721
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	3,684	△96	962	3,780	2,721
(合計)(A)	25,559	446	6,263	25,112	19,295
正常債権	987,437	△14,821	△27,123	1,002,259	1,014,560
(総与信額)(B)	1,012,996	△14,375	△20,859	1,027,372	1,033,856
総与信額に占める割合(A/B)	2.52%	0.08%	0.66%	2.44%	1.86%

(4) 仙台銀行

(単位：百万円)

	2022年6月末		2021年6月末比	2022年3月末	2021年6月末
		2022年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,644	25	88	1,619	1,556
危険債権	21,610	639	2,445	20,970	19,164
要管理債権	3,881	△33	593	3,914	3,287
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	3,881	△33	593	3,914	3,287
(合計)(A)	27,136	631	3,127	26,504	24,008
正常債権	861,306	3,418	41,420	857,888	819,886
(総与信額)(B)	888,443	4,050	44,547	884,392	843,895
総与信額に占める割合(A/B)	3.05%	0.06%	0.21%	2.99%	2.84%

3. 時価のある有価証券の評価損益

当子銀行のきらやか銀行と仙台銀行は、SBIグループとの連携により、信用力の高い海外債券（国債・地方債等）を中心とする有価証券ポートフォリオに入れ替えておりますが、当第1四半期連結累計期間において、海外金利の急上昇により、両行のその他有価証券の評価損が拡大しました。

このため、両行では、さらに金利が上昇した際の評価損の拡大を抑制するため、短期の債券への切り替えや金利リスクヘッジなどの対応を講じております。

今後、当社グループは、SBIグループと引き続き連携し、海外金利をはじめとする市場環境の見通し、有価証券ポートフォリオの状況や課題を共有し、リスク管理体制をさらに強化してまいります。併せて、有価証券ポートフォリオの再構築を検討し、有価証券評価損益の改善を図るとともに、収益性の向上に努めてまいります。

(単位：百万円)

		2022年6月末					2022年3月末			2021年6月末		
		評価損益	評価益	評価損	2022年 3月末比	2021年 6月末比	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
じもと HD (連結)	満期保有目的	△67	—	67	△4	△14	△63	—	63	△53	—	53
	その他有価証券	△29,396	548	29,945	△11,803	△29,552	△17,592	1,649	19,242	155	5,711	5,555
	株式	322	484	162	85	131	237	395	158	190	426	235
	債券	△934	11	946	△282	△914	△652	32	684	△19	246	266
	その他	△28,784	51	28,836	△11,607	△28,769	△17,177	1,222	18,399	△15	5,037	5,052
2行合算 (単体)	満期保有目的	△98	—	98	2	5	△100	—	100	△103	—	103
	その他有価証券	△29,423	493	29,916	△11,809	△29,567	△17,614	1,663	19,277	144	5,721	5,576
	株式	272	437	165	86	141	185	416	230	130	438	308
	債券	△903	11	915	△288	△937	△615	32	647	33	249	215
	その他	△28,791	43	28,835	△11,607	△28,771	△17,184	1,214	18,398	△19	5,032	5,052
きらやか 銀行 (単体)	満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他有価証券	△17,041	334	17,375	△4,862	△13,842	△12,179	324	12,503	△3,198	825	4,023
	株式	206	287	81	24	67	182	262	80	138	225	86
	債券	△687	7	694	△251	△709	△435	24	460	22	207	185
	その他	△16,560	39	16,600	△4,635	△13,200	△11,925	36	11,962	△3,359	391	3,751
仙台銀行 (単体)	満期保有目的	△98	—	98	2	5	△100	—	100	△103	—	103
	その他有価証券	△12,382	158	12,540	△6,947	△15,725	△5,434	1,338	6,773	3,342	4,896	1,553
	株式	65	150	84	61	74	3	153	149	△8	213	221
	債券	△216	4	221	△36	△228	△180	7	187	11	41	30
	その他	△12,231	3	12,234	△6,972	△15,570	△5,258	1,177	6,436	3,339	4,641	1,301

- (注) 1. 仙台銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づくじもとホールディングス連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、じもとホールディングス連結の有価証券評価損益と子銀行の有価証券評価損益の総額の合計は一致いたしません。
2. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。
3. 2018年6月期に、きらやか銀行が満期保有目的の債券を売却したことに伴い、2020年3月期までに取得した仙台銀行の満期保有目的の債券は、じもとホールディングス連結において「その他有価証券」に計上しております。

4. 預金等、預かり資産、貸出金の残高

(1) 預金等の残高

- ・きらやか銀行の預金等の残高は、個人預金、法人預金及び公金預金の減少により、前年同月末比136億31百万円減少の1兆2,937億26百万円となりました。
- ・仙台銀行の預金等の残高は、個人預金及び法人預金の増加により、前年同月末比236億58百万円増加の1兆2,421億74百万円となりました。

(単位：百万円)

		2022年6月末			2022年3月末	2021年6月末
			2022年3月末比	2021年6月末比		
2行合算	預金等	2,535,900	45,999	10,026	2,489,901	2,525,874
	うち個人預金	1,634,446	14,362	20,690	1,620,084	1,613,755
	うち法人預金	648,274	△15,061	△5,872	663,336	654,147
	うち公金預金	247,755	47,866	△3,471	199,888	251,226
きらやか銀行 (単体)	預金等	1,293,726	5,902	△13,631	1,287,824	1,307,358
	うち個人預金	882,779	△2,002	△3,887	884,782	886,667
	うち法人預金	368,771	△21,531	△7,130	390,303	375,902
	うち公金預金	39,982	30,514	△1,814	9,467	41,797
仙台銀行 (単体)	預金等	1,242,174	40,097	23,658	1,202,076	1,218,515
	うち個人預金	751,666	16,364	24,578	735,302	727,088
	うち法人預金	279,502	6,469	1,257	273,033	278,245
	うち公金預金	207,772	17,351	△1,656	190,421	209,429

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 預かり資産残高

- ・きらやか銀行の預かり資産残高は、投資信託、公共債及び生命保険の減少により、前年同月末比81億9百万円減少の985億42百万円となりました。
- ・仙台銀行の預かり資産残高は、生命保険の減少等により、前年同月末比43億19百万円減少の895億86百万円となりました。

(単位：百万円)

		2022年6月末			2022年3月末	2021年6月末
			2022年3月末比	2021年6月末比		
2行合算	預かり資産残高	188,128	△9,751	△12,428	197,880	200,557
	投資信託	33,194	△2,199	△1,548	35,393	34,742
	公共債(国債等)	5,538	△59	△1,695	5,598	7,234
	生命保険	149,395	△7,493	△9,185	156,888	158,580
きらやか銀行 (単体)	預かり資産残高	98,542	△5,805	△8,109	104,347	106,651
	投資信託	20,212	△1,252	△2,746	21,465	22,959
	公共債(国債等)	882	△11	△890	893	1,772
	生命保険	77,446	△4,541	△4,472	81,988	81,919
仙台銀行 (単体)	預かり資産残高	89,586	△3,946	△4,319	93,532	93,906
	投資信託	12,981	△946	1,198	13,928	11,783
	公共債(国債等)	4,656	△47	△805	4,704	5,461
	生命保険	71,948	△2,951	△4,712	74,900	76,661

(3) 貸出金の残高

- ・きらやか銀行の貸出金の残高は、中小企業等貸出金が増加したものの、一部大企業向け貸出を抑制したことで政策的な融資残高が減少したこと等から、前年同月末比230億8百万円減少の9,849億55百万円となりました。
- ・仙台銀行の貸出金の残高は、中小企業向け貸出及び住宅ローンが増加したこと等により、前年同月末比434億76百万円増加の8,801億81百万円となりました。

(単位：百万円)

		2022年6月末		2022年3月末	2021年6月末	
			2022年3月末比			2021年6月末比
2行合算	貸出金	1,865,137	△10,248	20,468	1,875,386	1,844,669
	中小企業等貸出金残高	1,610,259	△6,197	48,318	1,616,457	1,561,941
	うち消費者ローン	545,739	9,323	41,070	536,416	504,669
	中小企業等貸出金比率	86.33%	0.14 [㊦]	1.66 [㊦]	86.19%	84.67%
きらやか銀行 (単体)	貸出金	984,955	△13,881	△23,008	998,837	1,007,963
	中小企業等貸出金残高	837,007	△6,706	314	843,713	836,693
	うち消費者ローン	246,003	437	4,946	245,566	241,057
	中小企業等貸出金比率	84.97%	0.51 [㊦]	1.97 [㊦]	84.46%	83.00%
仙台銀行 (単体)	貸出金	880,181	3,633	43,476	876,548	836,705
	中小企業等貸出金残高	773,252	508	48,004	772,744	725,248
	うち消費者ローン	299,736	8,886	36,124	290,850	263,612
	中小企業等貸出金比率	87.85%	△0.30 [㊦]	1.18 [㊦]	88.15%	86.67%